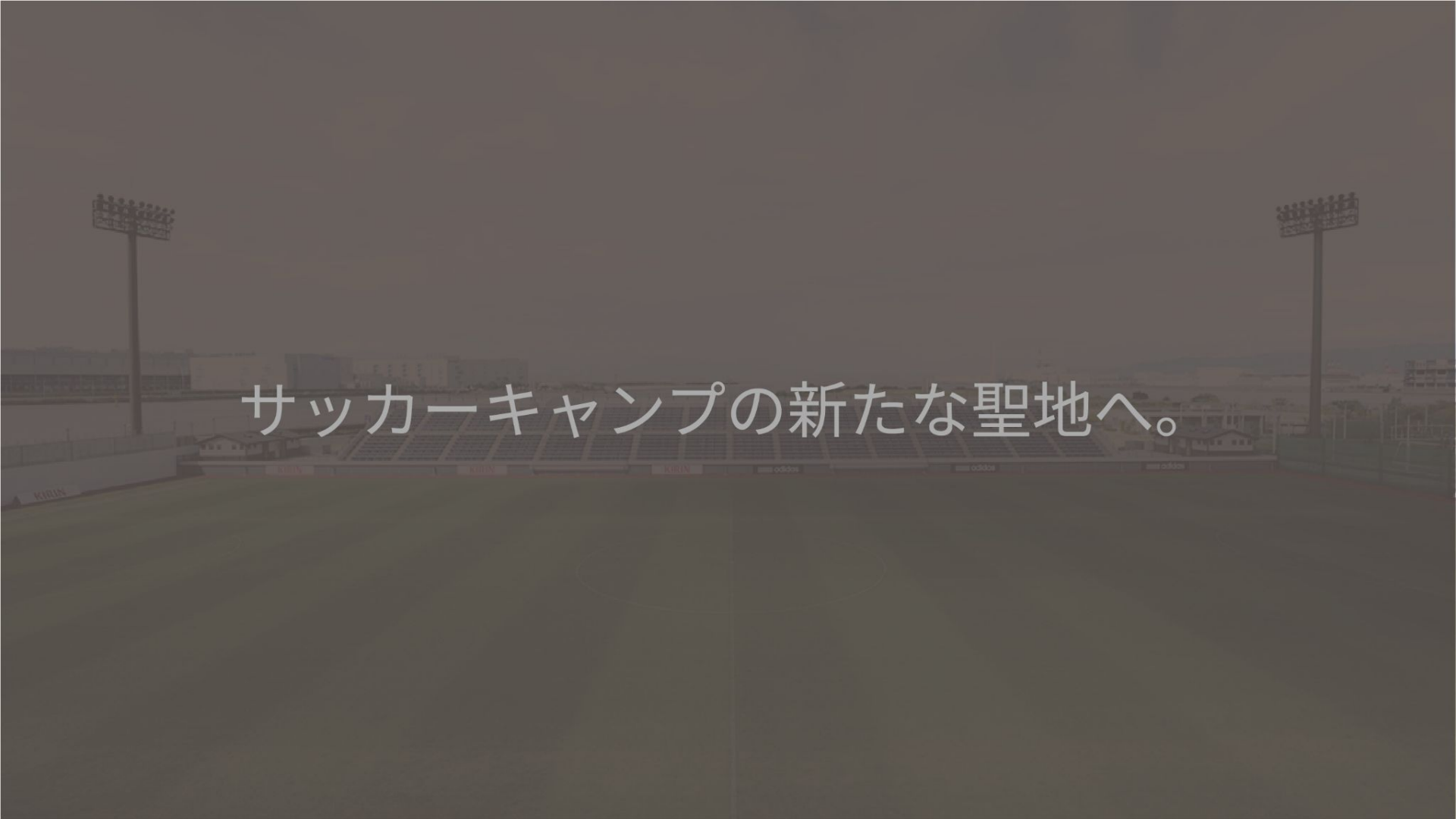
# Jリーグキャンプ誘致協議会




サッカーキャンプの新たな聖地へ。

# サッカーで広がる、街の未来。

サッカーJリーグは、2026年から『秋春制』に移行することが決定しました。
それに伴いJリーグチームのキャンプが、これまで行われていた冬季から夏季へと変動します。

**しかしながら、Jリーグには全60チームが存在するものの、
受け入れ態勢がまだ整っていないのが現状です。**

# 協議会の目的

当北海道キャンプ誘致協議会は

**Jリーグと地域社会との架け橋となる役割を果たします。**



# 協議会メンバー

## Jリーグキャンプ誘致協議会

| | | |
|---|---|---|
| 【事務局長】 | 株式会社フードバリエーション | 代表取締役 木村　健太郎 |
| | 株式会社TSUBASA | 代表取締役 岩本　義弘 |
| | 株式会社REAL SPORTS | 代表取締役 畠田 亮 |
| | 株式会社トリプルワン | 代表取締役 伊藤 翔太 |
| | 株式会社APRグループ | 代表取締役 青木 康昭 |
| | 札幌市職員 | 加藤 修 |
| | エイトノット株式会社 | 代表取締役 中條秀昭 |

## 連携



# 予想日程

| | |
|---|---|
| キャンプ予想期間 | 7月1日　～　7月24日 |
| 自チームキャンプ | 7月25日　～　7月31日 |
| 開幕予想 | 8月1日～ |

# 期待される効果



Jリーグチームのキャンプ誘致には、
チームの滞在による経済効果と、
サポーターの来訪による観光効果の
2つが期待されます。



過去のキャンプではサッカー教室の
開催実績もあり、地元の子ども達が
プロ選手と交流する貴重な機会を
得ることができます。



大学チームとのトレーニングマッチを
組むことができるため、地域全体の
サッカーレベル向上が期待されます。



市町村の知名度が向上し、
Web閲覧数の増加によって
地域のPR効果が高まります。

# 期待される効果

## 2024 年 1 月～3 月沖縄県内で実施されたサッカーキャンプの経済効果

選手及びスタッフ：27 チーム 1,333 人
平均宿泊日数： 12.9 日

サッカーチーム誘致関連支出額

| | 支出額(円) |
|---|---|
| 球団経費 | 430,500,000 |
| その他消費 | 90,374,027 |
| 施設関連経費 | 103,541,551 |
| その他消費<br>各選手・スタッフによる消費 | 12,475,648 |
| 合計 | 636,891,226 |

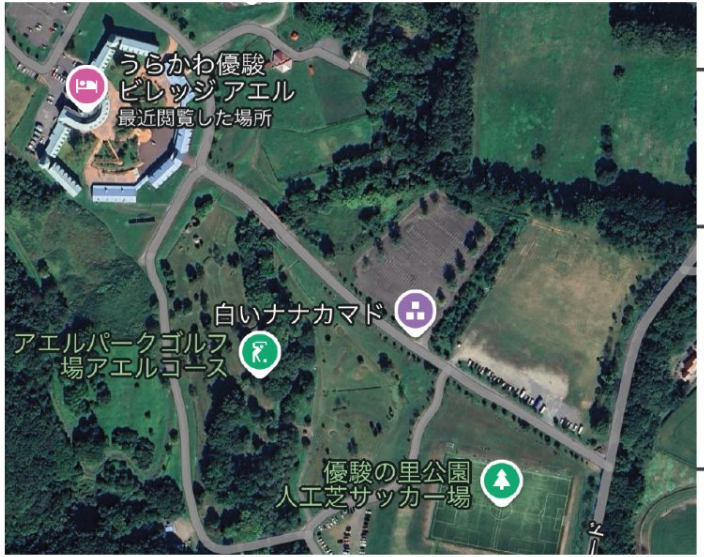
観光客による需要増加額

| | 支出額(円) |
|---|---|
| 宿泊費 | 235,008,226 |
| 交通費 | 79,361,370 |
| 土産・買物費 | 103,113,370 |
| 飲食費 | 122,975,980 |
| 娯楽・入場費 | 65,798,978 |
| その他 | 14,399,650 |
| 合計 | 620,657,574 |

**約 12 億 5755 万円が直接効果**になると試算される

# クラブが求めていること

・宿泊施設とフィールドまでの距離（20分以内）と協力関係
・トレーニングマッチメイク。他チームキャンプ地がまでの移動距離1時間以内
・2026年に天然芝をトップフィールドに持っていけるかどうか




宿泊施設とグラウンドの距離：車2分（徒歩9分）

【トレーニングマッチ可能な地域と距離】

【芝の状況】

# クラブがホテルに求めること

・クラブチーム50～70名の宿泊可能（1フロア以上の貸切、1人1部屋希望）
・MTGルームとプロジェクターの完備
・用具室は16.2㎡程度を希望
・コインランドリーは、1日200枚程度の洗濯乾燥が可能なものを希望
・メディカルルームは4人同時にボディケアできる広さ（16.2㎡程度）を希望



・トレーニングルーム
・スイミングプール
・大浴場
・レストラン
・客室50~70室
・ランドリールーム
・25㎡程度の用具室、メディカルルーム
・120㎡～150㎡程度のMTGルーム（プロジェクター完備）

# 協力市町村

札幌市



浦河町



栗山町



厚真町



白老町



夕張市



苫小牧市



余市町



伊達市



別海町



中標津町



# 北海道キャンプの現状

## 2026年夏季プロサッカーキャンプ実施決定！（R8.2現在）




【引用】https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ssk/soccer.html

【札幌市】ヴィッセル神戸（ J1）
📍白旗山競技場

【白老町】FC東京（J1）
📍桜ヶ丘公園陸上競技場

【苫小牧市】名古屋グランパス（ J1)
📍TOMASEIフットボールフィールド

【室蘭市】FC今治（J2）
📍日鋼室蘭スポーツパーク

【函館市】RB大宮アルディージャ（ J2）
📍うみしんフットボールパール

【北斗市】東京ヴェルディ（ J1）
📍北斗市運動公園フットボール場

【七飯町】川崎フロンターレ（ J1）
📍東大沼多目的グラウンドトルナーレ

【東川町】セレッソ大阪（ J1）
📍ゆめ公園天然芝サッカー場

【網走市】柏レイソル（ J1）
📍網走スポーツ･トレーニングフィールド

# 実績










## 白老町へのキャンプ誘致実績（FC東京）

約2年間にわたり継続的に連携・調整を行い、
延べ6チームの視察受入を実施。
その結果、FC東京のキャンプ誘致を実現。

## 白老町が選ばれた主な理由

・道内でも比較的温暖で、積雪量が安定しており
　トレーニング環境に適している

・芝の育成・維持に適した気候条件

・新千歳空港から1時間圏内という優れたアクセス

これらの条件を総合的に評価いただき、
キャンプ地としての採用に至った。

# 現在の動き



現在複数クラブへ

北海道キャンプのご案内をしております。

# お問い合わせ先

事務局長

株式会社フードバリエーション
代表取締役　木村 健太郎
tel：090-8908-6515
mail:info.hokkaidocamp@gmail.com